



たてやま

# 議会だより

& わたしたちのマーチングみてね!!



下段地区住民大運動会



平成21年  
9月定例会

No. 34

2009.11.1

発行/立山町議会  
責任者/議長 村田 昭  
編集/広報特別委員会

常任委員会の審議	2P
本会議の討論	3P
一般質問 9名が登壇	4P
行政視察報告	9P
議会活動日誌	10P

# 太陽光発電を共同調理場に

## 総務課

○ 財政調整基金繰入金で2億2千万円減額補正した理由は。

▲ 普通交付税や繰入金が増したためである。

## 税料金課

○ 過誤納付金(予定納税還付金)200万円が、補正予算計上され、予備費から既に1,300万円が充用されているが、その説明を求めた。

▲ 当初予算を上回る法人からの予定納税の還付申請があり、早急に還付する必要があるため予備費から充用し対応した。

## 消防署

○ 防火水槽の工事請負費250万円が補正予算計上されている。6月補正でも70万円計上していたが、合計いくらになるのか。

▲ 設計委託と地質調査を合わせると750万円になる。

## 教育課

○ 共同調理場建設事業の中に、540万円の補助による太陽光発電工事があるが、発電能力とその耐用年数は。

▲ 発電は10キロワットで、蛍光灯70本程度。電源設備は10年で改修が必要となる。屋根の受光パネルは半永久的である。



末三賀地区K氏宅の太陽パネル

総務教育常任委員会

# カシノナガキクイムシ対策

## 国・県へ重点要望

## 健康福祉課

○ 寺田地区内に建設予定の認知症施設の概要は。

▲ 認知症対応型グループホームとして、敷地300坪、木造平屋150坪、ツリーユニット18人入所である。2町1村の方が利用可能で、中新川介護保険事業4期計画で22年4月開所予定である。

## 農林課

○ カシノナガキクイムシ対策に関して、国・県への要望は。

▲ カシノナガキクイムシは日本海側、特に北陸地方に多く見受けられ、どこで発生したかは林業試験所等で調査中である。対策は県の森づくり税を活用しているが、財源・作業スタッフに



カシノナガキクイムシ (約5mm)

## 建設課

○ 公園建設事業の中の計画策定委託料は。

▲ 対象は前沢中央公園ほか4公園であり、都市公園の改善計画に盛り込むためのものである。

○ 県委託の建築物の実態調査の目的は。

▲ 調査の内容は、床面積・構造・着年月日であり、県の住宅計画に反映されるものである。

## 住民環境課

○ 乗り合いワゴンの乗車率を上げるための方策・路線の見直しは。

▲ 来月には路線の見直しを行い、乗降者の増加に努める。

# 議員提出議案 7対6で可決

## (仮称)立山町元気創造館建築促進に関する決議

### 提案理由

米田俊信議員

(仮称)立山町元気創造館を地鉄五百石駅敷地等において、早急に建設整備することを強く求める。

立山町では第8次総合計画で、保健・医療・福祉部門等と連携した総合的施設の整備を位置付け、歴代の町長が実現に向け努力されてきたが、いまだ日の目を見ない状況にある。

少子高齢化が進み、町全体の活力が衰退していく中で、町民の健康と福祉を守り、また多くの町民が集い交流する拠点施設を整備することは、極めて重要である。

施設整備にあたっては、保健福祉センターの機能だけでなく、都市再生整備計画の環境として「まちづくり交付金制度」等を活用できる、複合的な機能を有する施設の整備が必要であると思う。

通学時における電車・バスの時間待ちに、また運転が得意でない高齢者や障害者が集う場として、図書館や町民交流センター等の設置は不可欠である。

ある。

良い施設が建設されて良かったと喜んでもらえる(仮称)立山町元気創造館の早期建設の決議を求める。

### 【反対討論】中川光久議員

何故、この時期にこの提案が出てくるのか不思議である。昨年、議会で否定された当局からの内容と、今回の内容は全く変わっていない。変わっているとするれば国の補助金が2億5千万円プラスされているということだが、正式な場所では何も聞いていない。一部の議員だけに話をするのではなく、全員にするべきである。

政権交代されて見直しと呼ばれているが、町長も「先行き不透明」と答弁されている。1年前の議決について、進歩的な話し合いの場が持たれなかったのは残念である。来年1月には選挙がある。何故この時期なのか、話し合いのないこのような状態の中でこの議案は賛成できない。

### 後藤智文議員

最初に誤解のないように日

本共産党立山町委員会は、保健福祉総合センターは早期に建設することを望んでいる。

【問題点】

- 1、提案の仕方に問題あり。国土交通省での交渉経過は、一部の議員だけに報告し、全員には公開されず。
  - 2、補助金目当てのハコモノ作りは失敗する。口約束でしかも前政権とのもの。「先が不透明」で問題あり。
  - 3、昨年議決された「役場周辺で建設」からわずか1年、節操がない。
  - 4、来年1月には町長・町議選があり、新しい体制の下で仕切り直しすべき。
- 以上の4点から決議に反対する。

### 石川孝一議員

この議案の提出の経過が何も知らされず、今日の全員協議会で知り、この議案に対して吟味する時間がなかったのは残念である。

昨年の決議を受けて町長は、白紙宣言から凍結宣言に変わった。この間、具体的な対応はなく、町長の民主主義が問われる。何故、町民の声を

限りがあり、現状は被害に對して処理が追いつかないため、国・県へは重点要望として挙げている。

○ 有害鳥獣対策の檻の敷と成果は。

▲ 昨年度の檻は熊・猪・猿・カラスが各4基、ハクビシン9基で、捕獲数はハクビシン13頭、熊3頭、猿5頭、カラス400羽である。

○ 調査の内容は、床面積・構造・着年月日であり、県の住宅計画に反映されるものである。

○ 乗車率を上げるための方策・路線の見直しは。

▲ 来月には路線の見直しを行い、乗降者の増加に努める。

## 住民環境課

○ 乗り合いワゴンの乗車率を上げるための方策・路線の見直しは。

▲ 来月には路線の見直しを行い、乗降者の増加に努める。

聞く努力がないのか。何故、町民が納得できるような方法がとれないのか。このような方法では町民の信頼を得られず、町民の意思とかけ離れているということに反対する。

### 【賛成討論】窪田一誠議員

建設は総合計画に位置付けられた富樫町長時代からの懸案であり、1日も早く建設計画を進めるべきだ。

国の「まちづくり交付金」を活用して地鉄立山線と併せて、寺田地区も整備する計画で23年まで国の認可を受けているもの。

7月、町が国と交渉して補助対象が広がり、補助金が3億3千万円から5億8千万円になった。政権交代で見直しが行われても、認可されたものが執行停止になるとは思えない。新政権の政策は不透明だが、機動的に対応できるように、場所・規模など用意周到に準備を進めることが大事である。タイミングを失うことなく計画を進めるこの案に賛成である。

### 決算特別委員会の設置及び付託

- 決算特別委員選出
- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 村井隆夫 |
| 副委員長 | 窪田一誠 |
| 委員   | 石川孝一 |
|      | 後藤智文 |
|      | 桑原米蔵 |
|      | 高嶋清光 |

### 請願陳情の審査結果

1号・2号不採択 (賛成議員少数)

第1号 (賛成議員少数)

障害者自立支援法の抜本的な改正を求める意見書採択を求め陳情書

賛成討論 (石川孝一・後藤智文)

第2号

富山県の最低賃金の大幅引き上げと中小企業対策の拡充を求める請願書

賛成討論 (石川孝一・後藤智文)

一般質問



9月定例会で行われた一般質問です。くわしくは、図書館や議会事務局に理事線があります。ホームページでもアクセスできます。http://www.town.tateyama.toyama.jp/

9月27日に行われた市議会議員会

高嶋清光議員



中山間地活性化対策は

議員 里山住民は、地域的・校下的に不安が年々増している。今までの質問による答弁の対応について。

「地域おこし」協力は

町長 今年度より立山・上段地区の一部と東谷地区で住宅建設やリフォームに対して、その費用の一部を補助する里山定住促進事業に取り組んでいる。また、意欲ある都市住民を中山間地域の新たな担い手として従事してもらおう「地域おこし協力隊」の募集準備も行っている。

増税の是非

議員 平成19年に20年度から25年度までの6年間で約16億円の赤字となることから、税を上げる必要があるとの説明であった。しかし、毎年約3億円の黒字決算、財政調整基金も6月に約7億円となっている状況にある

基金は増加

町長 財政調整基金については、平成21年度当初予算で5千万円を繰入し、6月補正で2億円を繰入したことにより基金残高を約4億5千万円とした。さらに、9月補正で普通交付税や前年度からの繰入金金の確定などにより2億2千万円の戻し入れを計上し、残高を約6億7千万円とする予定。

がどうか。

その他の質問

- 1、人口減少、若者減少による町営住宅建設、地域住宅交付金による制度利用調査結果はどうなっているか。
- 2、坂井沢、石坂間のスーパー農道の調査について補正されているが、今後の計画をどう進めるのか。
- 3、国内外との交流を控え、各種イベント見直し、保健福祉総合センターを建設すると考えているがどうか。
- 4、乳幼児医療費委任払い制度の富山市への拡充についてはどうか。
- 5、マニフェスト、町民との約束、あと何ヶ月で4年だが多くの約束の実行は。

米田俊信議員



町長自身の評価は

議員 舟橋町政の実績評価を問う。

評価は町民の方に

町長 まず、給料水準、全国の類似町村に比べて高く、他の町村と同等程度にするにはどうしたらよいか、苦心した。平成18年度には、給料を4.8%下げ、また職務階級の見直しに努めた。

人件費総額、保育所、学校など公共施設が多く、自ずと職員数も多く総額が大きくなる。職員数の自然減だけでは負担が大きく、そのため、管理職には3%、副町長・教育長において7%の給料の抑制をご理解いただいた。これにより、10年以上先になると思うが、給料水準、人件費総額が、他町村並みになる目途もついた。固定資産税率のアップ



町長室前

と学校メンテナンスについては、教育力の向上を掲げ、学校司書の配置や施設改修を進めた。良い教育環境を目指し、徹底した事務事業の見直しを進めるが、改修には多額の費用が必要である。そこで、着実に、確実に実施できるよう、町民の皆様へ負担いただき、計画どおり進めている。地方交付税も予想より増えており、来年度から固定資産税率を0.05%引き下げる。評価については、3年半の一部であるが、私自身行うことではなく、町民の方が行うものと考えている。

佐藤康弘議員



高齢者運転免許自主返納は

議員 高齢者の交通事故が増えているので、自主返納される方に支援できないか。

支援を検討

町長 高齢者の交通事故防止や公共交通活性化の観点から、何らかの支援ができないか検討したい。

木質ベレット製造プラント建設は

議員 富山市では大規模な木質ベレット製造プラント建設を着手すると聞いていますが、町では建設計画はないのか。

製品を購入したい

町長 富山市に木質ベレット製造プラントが建設されるので、町では競合をさせて町内の林地残材を持ち込み、ペレット化された製品を購入したほうが最良である。したがって建設はしない。

消防署職員の定数見直しは

議員 平成6年以降見直しが行われておらず、業務量は1.5倍になっているが、十分とは考えていない

町長 定数適正化計画や消防広域化の状況も考慮し、適正になるよう検討したい。

消防職員の前倒し採用は

議員 退職者の補充採用では欠員状態が継続する。採用を1年前倒しできないか。

検討したい

町長 定数問題との関連もあり、近隣市町の状況や消防広域化の内容等を検討し対応したい。

たてやまドントンの事は

議員 町のPR、活性化につなげては。

資金面でも支援をしたい

町長 町内で行われるイベントとしては、屈指の動員力を誇り、町の活性化とPRには良い機会と考えている。大会運営の一助となるよう、資金面も含めできる範囲での支援をしたい。

# 伊東 幸一 議員

## 町の経済対策は



議員 町内企業の景気・雇用状況をどのように認識しているか。また、今後の施策について問う。

町長 大半が非常に厳しい現状。国・県の経済対策が実施されると想定されるので、これに機敏に対応できるように準備をすすめる。

## 作物状況は

議員 町の水稻の作物・収穫量の見込みは。  
農林課長 作況は、95〜98%やや不良、反収は7.5俵前後、「コシヒカリ」は日照時間が回復し「てんたかく」より品質及び収量も良くなることを期待する。

## 直接支払制度の継続及び拡充は

議員 計画の概要、今後の進め方について。  
農林課長 10年間延長した上で5年ごとに見直す。農村基本計画に明記した対策を

# 村井 隆夫 議員



## 町の「景観条例」

議員 「景観条例」は有効に生かされているか。諸看板の現状と、指導方針は。  
効果が出るよう

町長 「立山町みどり維新の景観まちづくり条例」と、「屋外広告物法」の規定に基づき、景観の保全に効果的な条例・規制となるよう取り組んでいく。

## 耕作放棄田

議員 これからの耕作放棄田への取り組みは。  
有効に活用

町長 年々耕作放棄田が発生している。農業委員が先頭になり、農地相談員を配置して担い手農家へ集約し、農地として活用する農地の集積化を進めている。今後も、有害鳥獣の被害に遭わない物の作付け、また、水田放牧に努め、農地として有効に活用したい。

議員 町道3路線の見直しは。  
建設課長 日中・田添線は沢端交差点まで完了し、立山・上市横断道路は、平成26年度の供用開始に向け、事業を推進し、野沢・沢新線については、L型プレキャスト擁壁設置済み場所まで、数年中に完成させたい。

## 買い物代行に支援

議員 買い物代行が実施される予定だが、ボランティアとして応援できる事はないか。

## 会員確保にご協力を

商工観光課長 商協が主体となり、国の「地域商店街活性化事業」補助金を受け、10月からスタートしたい。事業を軌道に乗せる為、会員の確保が必要になり、広報活動や会員登録等に協力をお願いしたい。

**買物代行 カタログ**  
TEL・FAX 463-0198  
安心価格でより良い商品と良質なサービスをお届けします

立山町商業協同組合

## コンニエ救急は

議員 コンニエ受診に伴う救急車の利用とその内容について。  
消防署長 約5割位は軽病者で「緊急性」がない。「適正な利用」を啓蒙。  
たてて概算要求をする。  
高齢農家も安心して取り組めるように「共同で支えあう」作業が困難な場合でも近隣住民による代行を認め、小規模団地や飛び地なども支援対象とする。

## 子育て応援特別手当

議員 対象となる子どもの数は。  
健康福祉課長 平成15年4月2日から18年4月1日まで生まれた子ども約700人余り。



救急車 五百石保育所園児と一緒に

# 後藤 智文 議員

## 町民生活向上のために五百石地区循環バスを



議員 町営バスの目的を生活利用と考えると、五百石地区の主要な場所（ショッピングや医院など）を循環するバスを走らせてはどうか。

## 住民ニーズの調査・検討

住民環境課長 現在、町営バス2台で2路線、ワゴン車1台で4路線を運行しているが、利用度はあまり高くない。本年10月から新路線の運行を行うが、その中で住民ニーズを調査し、検討したい。

## 総合公園の利用料、中学生は無料に

議員 町総合運動公園を中学生が利用する場合、利用料金を払わなければならない。子どもたちの健全な成長のために無料にすべきではないか。

# 窪田 一誠 議員



## 何が支障か

議員 (仮称)元気創造館計画凍結を解除するうえで、いま何が支障となっているのか。また、今後の国の予算や交付金制度等の見込みは。

## 理解もう一度

町長 20年9月議会で「保健福祉総合センター建設促進」に関する決議が多数で可決された。この決議が有効で現計画を進める事が出来ないの、議員の皆様は現計画に対しご理解をもう一度お願いしたい。  
7月に町が国土交通省と協議した結果、国庫補助金も当初計画の3億3千万円から5億8千万円程度まで見込める。

## 新型インフルエンザ対策

議員 立山町での新型インフルエンザ予防ワクチンの必



建設進む北部小学校体育館

要数は何人分か。

町の優先接種者、概数は2,800人

町長 立山町における予防ワクチンの優先接種対象者の概数は、医療従事者200人、妊婦100人、1歳から就学前の小児1,600人、1歳未満の小児の両親400人、基礎疾患有する者500人で合わせて2,800人程度と見込んでいる。

## 完成後、早急に

議員 「北部小学校体育館改築設計図面」の中に「地域交流室」が組み込まれている。「地域交流室」を利用し、放課後児童健全育成事業を平成21年度に完成した後実施できないか。

## 北部小22年3月から実施

教育長 地域交流室にこの事業を移行する協議をしている。新川公民館からの移動も含めて、22年4月と言わずに3月で済ませたい。時期に環境を整えて実施したい。

## 関係機関と協議

建設課長 中学校からの要望もあり、使用料の軽減を図ったところだが、今年度で施設整備が完了するので、関係機関と協議したい。

## 尖山登山道の整備を

議員 登山者が増えている尖山の登山道入り口前までの道路の舗装と、すれ違える場所の確保、駐車場の拡張、さらに、簡易トイレの設置もすべきではないか。

## 県道沿いの駐車場の利用を

商工観光課長 横江地区から登山口までの未舗装になっている道路は、マイクログラスも十分可能な幅員なので、拡幅・舗装の予定はない。駐車場は県道沿いに2か所舗装されている場所があり、利用を願いたい。トイレの設置は維持管理や電源の関係もあり、他の登山道など全体を見ながら調整したい。



尖山入口駐車場 (横江地内)

総務教育常任委員会

北海道旭川市・富良野市・余市町

平成21年7月14日(火)～16日(木)

集団づくりを通して社会性を

**北星学園余市高等学校**  
 テレビドラマ「ヤンキー母校に帰る」のモデルとなった北星余市高校は、20年前から全国の不登校生や高校を中退した生徒を受け入れ、現在まで4,000人の卒業生を世に送り出し、一定の評価を受けてきた。しかし、近年は通信制や単位制の高校が全国で多くなり、生徒が安易に通信制を選択しているのが現状である。それが現在の問題点でもあると幅口校長が語り始められた。

「この高校が受け入れを始めた頃は、不登校や中退、問題をおこし地元で居られなくなった生徒が全国で十数万人にも上り、社会問題となっていた。文部省は解決策として、人間関係や集団生活が苦手な生徒の為に、通信制や単位制の高校を大量に作った。現在、全国で18万人以上の生徒が通信制に在籍しているが、1年間に1単位もとれない生徒が7万人もいる。その生徒が卒業しても、人と人との関わり方を知らず社会に溶け込めないまま悩んでいる。それが「ひきこもり」の原因になっている。」と指摘された。そして、

「人間は社会的動物であり、集団の中で『生きる力』『人間関係』をつくるのが大切で、さまざまな問題をもった生徒が、集団づくりを通して社会性を身に付けていく教育を重視している。それには集団ゲームから始め、競争遠足、弁論大会、夏



北星学園余市高校

- 委員長 佐藤康弘  
 副委員長 細川均  
 委員 石川孝一  
 桑原米蔵  
 坂井立朗  
 窪田一誠  
 高嶋清光

期スポーツ大会などの行事で集団生活を学ばせる。全国各地から親元を離れて来る生徒達を、5、20人単位で地元の方々に受け入れてもらい、下宿生活を通して地域や異学年との交流も生まれている。

この高校に来る生徒は、自分に対する自信が全くない。しかし、生徒達は素晴らしい可能性を秘め、それを引き出すのが教育者の責任でもある。生徒達は1年ごとに「生きる力」がついてくる。それは、生徒自身が一番感じることである。だから北星余市高校の卒業式は、生徒・先生・親が涙・涙の感動の式になる。」と、幅口校長は優しい目で語っておられたのが印象的だった。

その他、共同調理場を2箇所視察した。

〈参加者〉

町田信子議員



政権交代に伴う町政の運営を問う

議員 後期高齢者医療制度の廃止や「こども手当」の創設に対する認識は。

明確なビジョンを

町長 後期高齢者医療制度については、廃止とするのであれば、それと変わるべき明確なビジョンが示されるべきことが重要である。高齢者や市町村に大きな混乱が起きないよう制度的に軟着陸できるように方策がとられるよう要望したい。子ども手当5兆3千億円の財源を捻出するために何らかの予算がカットされてくると想定される。立山町に關係する事業の中でどこにどのような影響が出てくるのか注視していかなければならない。

インフルエンザ対策は

議員 新型インフルエンザ大流行への備えは万全か。

素早く対応

副町長 町内において新型インフルエンザが集団発生した場合は、ただちに対策本部を立ち上げ、対策行動計画に基づき各課役割分担に従い行動する。また、マスクや消毒液などの備蓄に努めており、必要な際には素早く配布できるよう準備を進めている。

福祉の充実の考えは

議員 父子家庭生活応援手当を創設してはどうか。

父子家庭にも支援を

健康福祉課長 現在、国・県・町においても、父子家庭限定の支援策がないのが現状で、父子家庭にも児童扶養手当支給拡大への報道があったところである。



ATM内にそなえられた消毒液

石川孝一議員



まちづくり構想は

議員 総選挙で政権が変わり、地方への権限委譲が増えることが予想される。立山町第9次総合計画策定を控え、まちづくりには長期的視野が必要では。

生活者起点のまちづくり

町長 町民にとって必要な、安心を感じる事業・施策を推進し、持続可能な行政運営を進めることが責務と考えている。生活者起点のまちづくりを進めたい。

小学校は現状維持で

議員 大森地区は統合により小学校がなくなつて43年。今でも学校があればよいとの思いは地区住民に強い。



ロケが行われた岩崎寺駅

小学校は統合によりなくなつて43年。今でも学校があればよいとの思いは地区住民に強い。学校は地域の人の心のよりどころで地域文化や歴史

継承の役割もある。小学校の現状維持が、中山間地の過疎化や限界集落対策に力強い政策になるのでは。

協議を重ねたい

町長 地域に小学校があり、子供たちの元気な姿を身近に感じられる事は、地域の人にとって誇りであり、また地域活力の源である。今後も地域の意見、要望を踏まえ、子どもたちにとって有意義な学校生活を送れるよう、協議を重ねたい。

保存と活用

議員 「劔岳の記」ロケ機材の保存と活用を。

案内板の設置

商工観光課長 立山町観光協会が、岩崎寺駅などロケ地5ヶ所に案内看板を設置。今後これらの小道具も活用したい。

利用料に配慮を

議員 総合公園体育施設の小学生利用料を無料に。

検討する

建設課長 今後の施設管理方法の検討の中で、教育委員会などの意見も聞き決めた。

自分たちのまちづくりは自分たちで

北海道稚内市・名寄市・幌延町

平成21年7月7日(火)～9日(木)



名寄市役所

日本最北端の稚内市の視察研修では、循環型社会を目指した複蓋型最終処分場に驚いた。家庭のゴミは焼却するものと思っていたが、稚内市では処分場全体を4区画に分割し、移動式の被覆屋根で覆い、埋め立てするという方式のもの。環境に充分配慮したこの施設は、広大な土地を有する北海道ならではの思った。「自然エネルギー都市宣言をめざして」というスローガンのもと、それを実行している稚内市での視察は、大変有意義なものだった。

名寄市では、同市が積極的に進めている「冬季観光」「住宅リフォーム助成事業」について説明を受けた。観光事業、住宅事業については、市と住民が共に知恵を出し合い汗をかいている様子が感じられた。

幌延町では「幌延町まちづくり基本条例」について研修した。幌延町は、人口僅か2千7百人であるが、町村合併論争のとき自立の道を選択し、それをきつかけに「自分たちのまちづくりは自分たちで」と、1年間をかけて議論を重ねた。魅力あふれる幌延町を次世代に引き継いでいくために、町

民・町議会・町の三者が、共有すべき考え方や役割分担を明確にし、それぞれが責務を果たす「協働のまちづくり」を目指す事を申し合せている。

研修で得た諸々は、本町行政に充分活かしていきたい。

〈参加者〉

- 委員長 伊東幸一  
 副委員長 村井隆夫  
 委員 後藤智文  
 町田信子  
 村田昭  
 米田俊信  
 中川光久

産業厚生常任委員会

## 議会活動日誌

## 7月

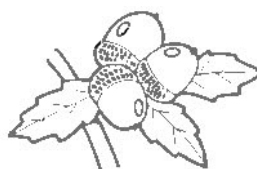
- 1日(木) 立山自然保護特別委員会行政視察  
「社会を明るくする運動」中新川  
郡推進委員会
- 2日(木) 立山自然保護特別委員会行政視察  
新川郷神社総代会総会
- 3日(金) 日中友好富山県地方議員連盟総会  
富山高山連絡道路同盟会総会  
議会広報特別委員会
- 6日(月) 重点要望(北陸農政局、北陸総合  
通信局)
- 7日(火) 県道富山立山建設促進協議会総会  
立山・魁岳方面遭難対策協議会総  
会
- 7日(火)~  
9日(木) 産業厚生常任委員会行政視察
- 10日(金) 神通川水系常願寺川直轄河川改修  
測深期成同盟会等総会  
議会広報特別委員会
- 11日(土) 雄山高校野球部激励会
- 12日(日) 蝶 清吉叙勲受章祝賀会
- 13日(月) 重点要望(富山河川国道・立山砂  
防事務所)
- 14日(火)~  
16日(木) 総務教育常任委員会行政視察
- 17日(金) 議会広報特別委員会
- 21日(火) 重点要望(北陸地方整備局、北信  
越運輸局)
- 22日(水) 重点要望(富山県東京事務所外)
- 24日(金) 宮城県松島町議会より視察
- 25日(土) 第60回富山県下消防団消防操法大  
会・慰労会  
立山頂上雄山神社夏山大祭
- 28日(火) 郡町村議会議長会議員研修会
- 31日(木) 重点要望(富山県知事・副知事)

## 8月

- 1日(土) 立山まつり  
町山岳救助協力隊総会
- 2日(日)~  
3日(月) 湯河原町やっさ祭
- 4日(火) 議会運営委員会  
富山地区広域圏事務組合決  
算審査
- 6日(木) 交通安全祈願法要
- 8日(土) タイヨーパッケージ立山工  
場地鎮祭
- 9日(日) 町民ゲートボール大会
- 11日(火) 日韓友好議員連盟理事会・  
総会
- 12日(水) 立山町戦没者追悼平和祈念  
式典
- 16日(日) 第3回たてやまドンドン  
祭、花火大会
- 19日(水) 白岩砂防堰堤重要文化財指  
定記念式典、現地視察
- 21日(金) 全国治水砂防協会立山支部  
総会
- 23日(日) 立山町消防団員レクリエー  
ション大会  
菊花会総会
- 28日(金) 町交通事故防止対策協議会
- 29日(土) 雷鳥苑夏まつり
- 30日(日) 町民ゴルフ大会表彰式
- 31日(月) 議会運営委員会

## 9月

- 2日(水)~  
3日(木) 富山地域衛生組合議会視察  
研修
- 4日(金) 町美術展開会式  
立山まつり反省会
- 5日(土) 雄山中体育大会  
町議会議長杯パークゴルフ  
大会
- 7日(月) 本会議(提案理由の説明)、  
全員協議会
- 12日(土) 高岡開町400年記念式典
- 14日(月) 本会議(一般質問・質疑、  
議案等の委員会付託)  
総務教育常任委員会
- 15日(火) 産業厚生常任委員会
- 16日(水) 議会運営委員会、全員協議  
会
- 18日(金) 本会議(委員長報告、討論、  
採決)  
交通安全祈願法要
- 20日(日) トランポリンシャトル競技  
リハーサル大会
- 23日(水) 少年剣道立山大会
- 26日(土) 交通安全ゲートボール大会
- 27日(日) 布橋瀬頂会
- 28日(月) 町議会決算特別委員会
- 29日(火) 町福祉のつどい  
町職員組合定期大会
- 30日(水) 立山ライオンズクラブ  
CN41周年特別例会



## あとながき

「歴史上の人物で誰と酒を飲んでみたいか」という質問に坂本龍馬と答える人が多いそうです。彼は価値観に偏りがなく、経済・権力・社会・理論から異性まで含めバランスよく、しかも意外にお洒落で身の回り品もよく吟味していたそうです。また、龍馬は周りが気絶するぐらい音痴で唄をうたい自分をさらけ出す。だから相手も胸襟を開く。「一を聞いて百を知る」しかも優先順位のつけ方と予測性に優れ果敢な実行力があったと聞いています。

明治維新以来140年間続いてきた中央集権制度が、時代に合わなくなってきました。私たちの住む地方が自立の精神を持つ地方分権は歴史の必然的な流れではないでしょうか。

11月15日は、子供の成長を祝う七五三。晴れ着で千歳船を持った親子が神社に詣でる姿を見ると心が和みます。その日は龍馬の誕生日であり命日でもあります。

今回の「議会だより」が現委員の任期中最後の発行となりました。

1年の休刊がありました。この4年間ご愛読いただきまして本当にありがとうございます。  
(細川記)

## 議会広報特別委員会

委員長 後藤智文  
副委員長 村井隆夫  
委員 細川均  
伊東幸一  
桑原米蔵

佐藤康弘  
町田信子



## 議場の花

提供 雄山家政専門学校  
(百本澄子校長)

議会や議会だよりについてのみなさん  
のご意見・ご感想は  
立山町議会内  
議会だより係

TEL 462-9984(直通)  
TEL 463-1121(代)  
FAX 464-1118

立山町議会事務局

〒930-0292 富山県中新川郡立山町前沢2440

ホームページ <http://www.town.tateyama.toyama.jp/> [議会議録] もご覧ください。